

ほかほかタイム

第1回目の「ほかほかタイム」は、上都賀教育事務所スクールサポーターの村山哲也様をお招きして、お話を伺いました。村山様は、栃木県文化協会理事や、栃木県オペラ協会副会長、宇都宮市民芸術祭オペラ部会長も務めていらっしゃいます。



まずあいさつ代わりにということで、1曲歌いたと思います。私は今、日本に住んでいますが、昔イタリアに住んでいました。そのイタリアに、太陽を自分の恋人に例えた「オ・ソレ・ミオ」という歌があります。「輝く太陽よ、私の恋人よ」という意味の歌です。

(アカペラ「オ・ソレ・ミオ」)

随分大きな声だと思いかもしれませんが、オペラは普通マイクを使わないで歌うのです。どうやったらさっきのような大きな声が出るのかなあと思うかもしれませんが、これは練習で誰でも出るので。どんな練習かちょっとやってみようかな。

イタリア人の先生に、「あなた日本人ですよ。日本人は、口を使わないんですよ。」と言われたのです。例えば「タタタタタタ」と「タ」を7回言ってみてください。(みんなで「タタタタタタ」)最後に切るのが大切です。これを速く言う練習をします。それから、「カカカカカカカ」(みんなで「カカカカカカカ」)だんだん難しくなるよ。「タカタカタカタ」これを毎日少しずつやります。それから、日本にはない発音(rの巻き舌の発音)の練習をしました。これで、オペラの発声講座はおしまいです。

最後にもう1曲。私が住んでいたイタリアの隣のフランスで生まれて、アメリカに渡り、そして日本に来た歌です。日本語で歌います。皆さんの未来にいいことがいっぱいあるように願いを込めて歌いたと思います。特に、1年後には中学生になる6年生に気持ちをこめて歌います。1年生には、第三小学校にいる間に、いいことが一杯ありますように願いを込めて歌います。2～5年生には、人生はいいことばかりではありませんが、そういうことがあったときに、乗り越えられるように、祈りを込めて歌いたと思います。「マイ・ウェイ」という曲です。

(「マイ・ウェイ」)

いいことが今市第三小にたくさんあることを祈って、これで終わりにします。

村山様の歌声は、CD伴奏がスピーカーから流れていても、マイクを使わずに通るほどの素晴らしい歌声でした。生で聴く本物の歌声に、特に高学年の子どもたちは、心を奪われていました。

子ども達の感想は、裏面に載せてありますので、ご覧ください。



ほかほかタイム

日(水) 1:15～
：フルート奏者
卒業生 福田 倫子様

☞入口からお入りくださ
ッパを御持参下さい。

キ リ ト リ
保護者の皆様から、御意見・御感想がありましたら、お寄せください。

担当：大森

Blank box for comments and feedback.

次号の道徳だよりに、匿名で御意見・御感想を掲載させていただきたいと思っておりますので、御了承ください。